



議会だより

3月定例会号

令和8年4月24日発行

No.177

こうみ



町のお金はこのように使われます ②

3月議会 ー第1回定例会ー

こんなことが決まりました ④

議案質疑 ⑥

一般質問 ⑧

町へ提言書を提出しました ⑮

編集後記 ⑰

「深緑の松原湖」

撮影:小海小学校4年生(令和7年度)井出隆斗さん

きかせて みなさんの夢

みなさんの未来に寄り添うまちに

ように使われます

令和8年度一般会計当初予算 43億8,000万円
前年度対比11%減

■一般会計（賛成多数で可決）

内訳	令和8年度 当初予算	構成割合 (%)	対前年度当初予算	
			増減額	増減率(%)
一般会計総額	43億8,000万円		△5億3,900万円	△11.0
・議会費	7,538万円	1.7	227万円	3.1
・総務費	7億1,674万円	16.4	△2億4,161万円	△25.2
・民生費	11億1,796万円	25.5	△1億9,418万円	△14.8
・衛生費	3億9,875万円	9.1	1,849万円	4.9
・農林水産費	2億1,013万円	4.8	1,163万円	5.9
・商工費	4億5,454万円	10.4	1,895万円	4.4
・土木費	2億6,997万円	6.2	△9,690万円	△26.4
・消防費	1億7,888万円	4.1	△2,917万円	△14.0
・教育費	5億926万円	11.6	△384万円	△0.7
・災害復旧費	900万円	0.2	0万円	-
・公債費	4億3,438万円	9.9	△2,464万円	△5.4
・予備費	500万円	0.1	0万円	-

■特別会計（全員賛成で可決）

会計名	令和8年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率(%)
国民健康保険	5億528万円	△1,425万円	△2.7
介護保険	7億3,762万円	1,043万円	1.4
後期高齢者医療	1億219万円	804万円	8.5
簡易水道 (収益の収入)	9,882万円	327万円	3.4

令和8年第1回定例会が3月4日から3月18日までの15日間の会期で開催されました。令和8年度当初予算は町長選挙の関係で骨格予算となりましたが、2日間にわたる予算決算常任委員会で慎重審議を行いました。

町のお金はこの

令和8年度主な重点事業

総務費

●マイクロバス更新

1,400万円

大型バスの老朽化に伴い、新しいマイクロバスが購入されます。

●70周年記念事業

418万円

町政施行70周年を記念した事業が行われます。

●小海駅、アルル施設修繕

675万円

施設の老朽化に伴い修繕されます。

民生費

●重層的支援体制整備事業

1,000万円

町民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、社会福祉協議会へ委託されます。

●児童館外構工事

5,447万円

小海なかよし児童館の増築工事に伴い、駐車場等の外構工事が行われます。

民生費

●こども家庭センター

3,699万円

子育てに困難を抱える世帯に対する包括的な支援が行われます。

衛生費

●長寿命化計画策定事業

416万円

町営住宅の長寿命化計画が策定されます。

農林水産費

●ワイン用ぶどう産地形成事業

3,068万円

新たな町の特産品開発を目指して、ワイン用ぶどうの産地化を進めます。

教育費

●心理コーディネーター配置

317万円

多様煩雑化する児童の支援ニーズに対応するため、小海小学校へ心理コーディネーターが配置されます。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

6億26万円

構成割合 (13.7%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

20億1,200万円

構成割合 (45.9%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

3億7,449万円

構成割合 (8.5%)

町債(町の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

2億5,900万円

構成割合 (5.9%)

こんなことが決まりました

令和7年度一般会計補正予算（第9号）賛成多数で可決

4,403万円を減額 総額55億2,159万円

【歳出の主なもの】

●総務費	△4,322万円
●民生費	△1,758万円
●農林水産費	△2,197万円
●土木費	242万円
●教育費	△2,232万円
●予備費	7,509万円

【財源の主なもの】

●地方消費税交付金	1,076万円
●地方交付税	1億368万円
●財産収入	△2,400万円
●繰入金	△1億2,330万円
●諸収入	1,337万円
●町債	△3,060万円

令和7年度 特別会計補正予算 いずれも全員賛成で可決

国民健康保険事業（第2号） 851万円を減額 総額5億801万円

介護保険事業（第5号） 3,017万円を減額 総額7億2,206万円

<追加議案>

令和8年度一般会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

1,765万円を増額 総額43億9,765万円

【歳出の主なもの】

●総務費	1,765万円
------	---------

【財源の主なもの】

●地方交付税	1,765万円
--------	---------



諮問2件、人事案2件、事件議決案1件、条例改正案4件、当初予算案5件、補正予算案3件、追加議案として人事案1件、事件議決案2件、補正予算案1件の合計23件で審議が行われ、すべての案件が可決・同意されました。一般質問は、6名の議員により行われ、町の考えをたえました。

諮問

人権擁護委員候補者の推薦について

嶋田琴二氏（本間下）と堀込久美子氏（馬流）の2名が諮問され、全員賛成で答申しました。

人事案

固定資産評価審査委員会委員の選任同意について

黒澤喜久雄氏（芹谷）と鷹野憲一郎氏（松原）が全員賛成で同意されました。

事件議決

防災行政無線施設改修工事請負契約の変更について

工事内容を変更するものです。
全員賛成で可決

条例改正

小海町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

小海町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

いずれも「こども誰でも通園制度」の創設に伴い、条例整備を行う

3月議会第1回定例会で

うものです。

いずれも全員賛成で可決

小海町生涯学習センター「北牧楽集館」条例の一部を改正する条例について

小海町図書館条例の一部を改正する条例について

それぞれ館長の定義を会計年度任用職員とすることができると改め、対応の柔軟性を加味した改正です。

いずれも全員賛成で可決

小海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国の法律の改正に伴い、「子ども・子育て支援納付金」を課税するための改正です。

全員賛成で可決

小海町介護保険条例の一部を改正する条例について

第9期介護保険事業計画（令和6～8年度）の事業運営が、令和7年度税制改正の影響を受けないよう所要の改正を行うものです。

全員賛成で可決

（追加議案）

事件議決

小海町過疎地域持続的発展計画の策定について

「過疎法」に基づき策定する、令和8～12年度の5年間の総合的な地域振興計画です。

全員賛成で可決

建設工事請負契約の変更について

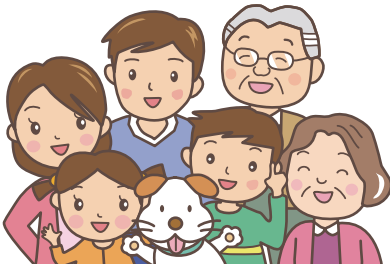
小海なかよし児童館増築工事の工期を、令和8年7月31日までに変更するものです。

賛成多数で可決

人事案

副町長の選任同意について

吉澤君雄氏（卒道）が全員賛成で同意されました。



各常任委員会からの要望

予算決算常任委員会

●令和8年度の予算説明資料について、新規事業の説明が不足しているのどしっかりとした説明標記とされたい。

○町長

わかりやすい資料の作成に努め、特に新規事業につきましては、その内容の詳細説明を加えてまいります。

●新規制度の導入や施設整備に当たっては、目的達成に向け適切な人的配置に配慮されたい。

○町長

実際の運営が安全かつ円滑に行われるよう、適切な人的配置について十分配慮してまいります。様々な状況に応じた丁寧な対応が求められますので、現場の実情も踏まえた体制作りに努めてまいります。

第1回定例会で賛否が分かれた議案

（○は賛成 ×は反対）

(議員氏名)	中村 佳太	小池 喜昭	菊池 一巳	小池今朝之	渡邊 晃子	的 梵美香子	黒澤 敦史	鷹野 文則	古谷 恒晴	井出 和人	渡辺 均	篠原 哲雄
(議案名等)												
令和8年度小海町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長職
令和7年度小海町一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	
建設工事請負契約の変更について(小海なかよし児童館)	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	

議案質疑

小海町乳幼児通園支援事業の設置及び運営に関する基準を定める条例

Q 一般形乳幼児等通園支援の余裕型活用と活用型乳幼児について、どう違うのか。場所はどこか？

A 一般型は普通の公立保育園、余裕型は公立以外の幼稚園や保育園。場所については児童館を予定しています。

小海町特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

Q 特定乳幼児の特定とは？

A 公立保育園以外の認定保育園のサービスを利用している乳幼児などをさします。

令和8年度一般会計予算関係

Q 小学校給食費の負担軽減交付金(国・県)が来るが、原材料費でどれくらい不足するのか？

A 月当たり5,200円一食当たり約260円の交付金、給食費は一食当たり380円です。その差額(120円)は従前通り一般財源で予算計上させていただきます。

Q 千代里牧場の入牧農家数と放牧頭数の詳細は？

A 肉牛の畜産農家が入牧しており、入牧農家数は町内2件、町外1件。放牧頭数は町内41頭、町外18頭。なお、乳牛については北海道へ放牧しています。

Q チャレンジ支援金が減っているが今後の考えは？

A 本年度の申請が1件だったためです。ただ、新しい事業を始めたいという方には利用しやすいものだと思えますので、住民への周知をしっかりとやっていきたいです。

Q アルルの女子トイレの故障による修繕という事ですが、トイレの課題がずっとあるが、今後どのように考えているか？

A 今の造りのものをもっと広くすると躯体に関わることで困難がある事から、当面は修繕して使用していきたい考えです。

Q アルル内カフェはどうなるのか？

A いろいろなイベントへの貸し出しや、障がい者等の働ける場所と考えていきたいです。

Q 重層的支援体制整備事業1,000万円の中身は？

A 様々な問題や課題を抱えている方を対象に、社会福祉協議会が窓口となつて関連組織と連携しながら、総合的に支援をしていきます。

Q 結婚推進事業の社会福祉協議会への移管について説明を？

A 白樺結婚相談会は、令和8年度以降佐久穂町と小海町だけとなります。佐久穂町と同様に事業主体を社会福祉協議会へ移管します。

Q 児童館の外構工事は本体工事と合わせて早期に完了できるのか？

A 7月末に完了する予定です。

Q 公的病院の特別交付金の補助金の増額は？

A 現在南部1町4村で協議中で、増額の方で検討しております。

Q 带状疱疹予防接種の補助額の予算算出根拠となる令和7年度の定期接種及び任意接種の見込み者数と、任意接種の拡充と補助額の増額は？

A 65歳以上の方を対象に算出し計上しました。また、任意接種の拡充と補助額等については、当面定期接種を優先にと考えています。

Q 馬流の旧農協の倉庫跡地を町営住宅に活用を検討していくのか？

A 町有地のため、そちらへの移転ということも検討の中に含まれています。

Q 猟友会員確保の為に駆除に係る諸経費等の補助の増額を要望しましたが、今回の予算に反映されていないが？

A 町では緊急銃猟を行なわないと判断しました。また、諸経費への補助は猟友会との協議の中で予算化を検討したい。

議案質疑

Q サテライト教室の設置費用の内容は？

A 小学校は通級教室が佐久穂小学校と南牧小学校にあり、中学校は本校が中込中学校で、サテライト教室が佐久穂中学校にあり、サテライト教室が佐久穂中学校に通う生徒が増えてきたので、令和8年度から佐久穂中学校を本校とし、サテライト教室として南牧中学校に新たに設置することになりました。その費用の分担金です。

Q 教育扶助対象になる児童生徒数は？

A 就学援助費6名、特別支援9名です。

Q 学校心理コーディネーター配置は？

A 家族への支援、先生方への支援も含め大学の心理カウンセラー特任教授に委託するものです。回数は週1回、年間で48回程度です。

令和7年度補正予算第9号関係

Q 町政70周年記念事業の大きな内容と時期は？

A 式典がメインになります。时期的には、第1候補が10月第1週日曜日、第2候補が9月末の日曜日です。町の紹介ビデオや70周年の記念のロゴを募集し、子供たちも楽しめるような事も考えていきます。

●議案質疑の中で、協力隊の活動内容について質疑があり、詳細を提出してもらいました。

	活動内容	任期（最長3年間）
1	憩うまちこうみ（株）MIYAMOTO 委託	令和4年6月1日～
2	多文化共生	令和6年5月1日～
3	ワイン用ブドウ	令和6年5月1日～
4	空き家対策	令和7年7月1日～
5	憩うまちこうみ（株）MIYAMOTO 委託	令和7年9月1日～
6	駅カフェ	令和7年10月1日～令和8年3月31日
7	ワイン用ブドウ	令和8年4月1日～（予定）
8	小海駅	令和8年4月1日～（予定）

討論があった議案

○令和8年度一般会計予算関係

反対 ワイン特産化の予算は、成果が見込みにくいこと、児童館建設では、予算や工期延長などで議会軽視が顕著であること、分院支援の金額や大義が示されていないことなど多々問題があり反対します。（渡辺均議員）

賛成 財政調整基金繰入は、緊急時の財政を安定させるものであるはず。当初からの恒常的な事業への繰入が常態化すると放漫財政をまねくので控えるべき。

地域おこし協力隊について、本来の目的から逸脱している部分が目立つ。土台が出来ていない事業への丸投げや人材不足の穴埋め対応は改めるべき。町民に分かるような事業報告会を開いていただきたい。

直営事業の赤字について、今後指定管理も含めた民間への移行の検討を。

こども家庭センター新設に当たり、町民へのサービス低下につながらないように、しっかりとした体制づくりを。（的埜美香子議員）

○令和7年度一般会計補正予算（第9号）関係

反対 補正の頻度が多く、一般会計を主とする予算の在り方を逸脱していること、緊急性を要件とする予算でありながら、計上しておきながら全く使われない予算があり、場当たりの補正予算は認められません。（渡辺均議員）

反対 児童館の増設にあたって、二転三転の動きは今の町政運営の現れである。必要性や中身の議論を抜きに精査しないまま、建設ありきで進めた結果だ。開墾ドリームやJクレジットの皆減も同じ事が言える。多くの町民の意見を聞く姿勢や立ち止まって見直す姿勢が欠けている。反省がなければ再発防止につながらない。（的埜美香子議員）



6名の議員が町政を問いました



一般質問



YouTube配信QRコード



- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- YouTubeで動画を視聴できますので、是非ご覧ください。

9ページ	選挙の公正性と信頼性の確保に向けて	黒澤 敦史
10ページ	安心安全面対策のその後は	小池 喜昭
11ページ	高齢者終身サポート事業について	菊池 一巳
12ページ	温泉に民間の経営ノウハウが必要ではないか	的埜美香子
13ページ	福祉住宅には地元木材などの活用に配慮を	渡辺 均
14ページ	保育料完全無償化は	渡邊 晃子

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

問 選挙の公正性と信頼性の確保に向けて

答 総務課長 現行制度の適正運用と改善に努めていきます



くろさわ あつし
黒澤 敦史 議員

投票所における本人確認のあり方について

問 選挙は民主主義の根幹であり、その公正性と信頼性の確保が重要であると考えます。制度が適正に運用されているだけでなく、住民が安心して投票できる環境づくりが必要ではないでしょうか。違法行為等に対応するため社会全体で本人確認の厳格化が進む中、なりすまし・二重投票の未然防止のための投票所での本人確認のあり方について、町はどのようにお考えでしょうか。

総務課長

投票所では入場券と選挙人名簿の照合により受付を行い、入場券がない場合も本人確認書類や口頭確認で対応しています。期日前投票ではシステムにより二重投票を防止し、当日は名簿確認と複数人によるチェック体制で対応しています。現行制度は適正に運用されていますが、課題認識もあり、今後も公正性と利便性の両立に努めていくこととしています。

村上団地の現状と今後

問 村上団地は人口減少対策として重要な施策ですが、造

成から3年が経過する中で販売状況をどのように評価しているでしょうか。また、住宅需要は長期的視点も必要と考えますが、今後の方針について伺います。

総務課長

全37区画のうち7区画が契約済みで、販売状況は十分とは言えません。原因としては人口減少や建築費の高騰が考えられ、今後は子育て支援制度の周知や町の魅力発信を強化し、購入希望者への情報提供を進める方針です。あわせて、短期的な販売促進だけでなく、将来需要も見据えた長期的視点で取り組んでまいります。

総務課長

人口減少が進む中、住宅政策は一か所に集中するだけでなく、各集落に小規模な分譲地を整備するなど、地域に根ざした取り組みも必要ではないでしょうか。空き家や遊休地の活用も含めた今後の考えを伺います。

地域コミュニティ



村上団地

維持の観点から、その必要性は認識しておりますが、現時点で具体的な計画はありません。空き家バンクや遊休地の活用を進めながら、地域の実情に応じた住宅施策を検討してまいります。

問 安心安全面対策のその後は

答 産業建設課長 夜間の安全性のために街灯設置を計画中です



こいけ よしあき
小池 喜昭 議員

安全性の街灯設置は

問 夜間、安心・安全のために松原湖駅から国道14号までの歩道や国道松原湖入口交差点付近の街灯設置について、その後検討されました結果をお伺いします。

産業建設課長 現在の釣鐘型とは異なりますが、観光地の入り口にふさわしいデザイン的な街灯を松原湖駅から国道までの歩道に設置する予定で計画しております。

小池議員

是非、次期には国

道14号松原湖入口交差点付近の街灯設置の計画もお願い致します。

防犯カメラの設置は

問 令和7年度に2台の防犯カメラの設置予定がございましたが、その実績及び令和8年度の設置計画をお伺いします。

総務課長 令和7年度は防犯対策として、役場の出入り口と駐車場に防犯カメラを設置して、役場来庁者の安心に繋がるものと考えております。令和8年度以降も各行政区か

町道の修繕工事は

らの要望を踏まえながら、防犯カメラを増設して防犯対策の充実を図って行きたいと考えております。

問 八那池区长さんからも要望しておりますが、集落内の町道日向線や農道十二線の道路状況の把握及び今後の改修計画をお伺いします。

産業建設課長 道路の修繕は八那池地区だけでなく各地区から要望を頂き対応しております。全地区すぐに工事が出来なく申し訳なく思っております。八那池地区は表層だけの補修でなく凍上抑制層を視野に入れた舗装にしたいと思っております。そのためには過疎債を使用することを考えております。財源を確保しながら各地区の道路現状を見ながら順次順番を決めて工事を進めていきたいと思えます。

避難所開設訓練は

問 前回、避難所の開設訓練

について、今後町民と町職員が一緒に実施するような訓練計画を進めて行きたいとのご回答でした。令和8年度に避難所開設訓練を総合センターで、実際の災害を想定して町民参加の実施計画のお考えをお伺いします。

町民課長 まず、総合センターで段ボールベットの組み立てやトイレの設置などの訓練を考えております。その後、総合センターで実際の災害を想定して、職員、地区、住民参加で避難所開設訓練の計画を考えております。



問 高齢者終身サポート事業について

答 町民課長 町の社会福祉協議会を通じて高齢者の終活支援事業を開始予定



きくち かずみ
菊池 一巳議員

問 最近、高齢者の終活の在り方に関する報道等が増えてきました、実は私が民生委員在職中にも、高齢の独居者や、老老世帯から終活の在り方の相談を受けることがあり、高齢者の皆さんが老後の身の処し方に不安を抱えている実態を垣間見る思いでした。そこで、高齢者の皆さんが住み慣れた小海町で、人生の最後まで安心して生活ができる終身サポート事業が展開できないかと、長野県内で社会福祉協議会が行っている終身サポート事業を事業化している自治体の事例を検索したところ、

小諸市社会福祉協議会が行っている高齢者支援事業が秀逸だと実感しました。この事業の定義づけは、入院、入所の時に保証人がいない、自分に何かあった時誰が片付けてくれるか、皆さんが住み慣れた小諸市で人生の最後まで安心して、生活ができるようお手伝いしますというものでもあります。設定されている、付加サービス事業の主な内容については、日常生活のサポートの他、身元保証、葬儀の手配、遺品整理等の立会い、日常的な金銭管理などとなっています。

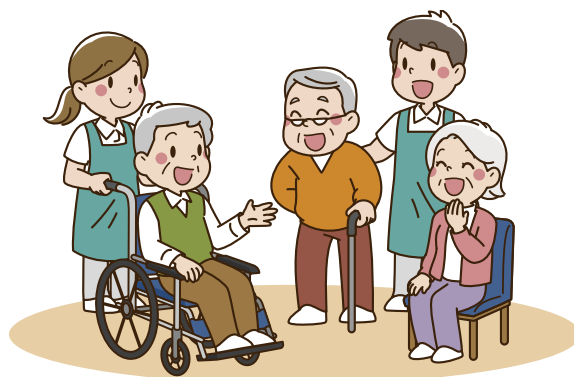
町では、子育て支援、定住促進、地域活性化などに力を入れていますが、長年町のために尽力された高齢者が、小海町に住んで良かったと実感出来る、終身サポート事業をぜひ前向きに検討していただきたいと思いますが、町の所見をお伺いします。

町民課長 小海町でも、身寄りが必要とする高齢者がおられる現状はある程度把握しております。このような、高齢者を対象とした終活支援事業を8年度において、町の社会福祉協議会を通じて開始する予定です。

他町村の事例を研究し、小海町に沿ったより良いサービスを構築したいと考えております。

菊池議員 私が提案しました終活支援事業について、町では事業化にむけて前向きに検討されているようですが、課長答弁にありましたように、先進先行の事例を参考に、よ

りよい事業化ができますよう要望いたします。



問 温泉に民間の経営ノウハウが必要ではないか

答 町長 検討はしていきたい。



まとの みの かの 的 桝 美香子 議員

問 スケートセンターの今後について、どういう構想を描いているか。

町長 この地域の伝統を守る、途絶えてはならないという考えです。近隣の町村とも協力しながら進めていくつもりです。老朽化に伴う冷凍機の更新では、エンジン式の改修、新設が不可能となっており、電気式の更新を3年間で行う予定です。併せて太陽光電池設備と蓄電池を整備し、増加が見込まれる管理費の削減を図る予定です。更新には大変なお金がかかるわけですが、

補助金の活用、過疎債等の有利な起債を財源とし、有効な整備を図ってまいります。建設から30年が経過し、リンク外構等においても経年劣化が進んでおり、必要な老朽箇所適切な修繕を進め、通年利用を見据えた中で運営を工夫し、経費削減を図りながら運営して参りたい。

問 6年度の赤字は5000万円を超えました。長期振興計画での数字では（3年間で）3億3千万円。これだけの大金をかけて、利用者の見込みは。

生涯学習課長 一般利用の増加は見込めませんが、スケートクラブ員、小中学校、若干増える要素もありますので、底辺の拡大の普及で利用者拡大を図っていきたくと考えています。

的桝議員 子どもたちに負の遺産を残すことにならないよう、町民のご意見をお聞きした中でしっかりと計画を立てていただきたい。

問 八峰温泉も7年度は4600万を超える赤字となっております。過去最高の入場者数だが、入場者数が増えれば赤字も増える構造的な問題をどのように考えているか。

産業建設課長 光熱費の高騰、レストランの食材費の高騰、人材不足の中で町職員3名の派遣、職員人件費の改定が温泉運営を圧迫しております。ポンプの故障とか、赤字幅は増えてくるが、町民の福祉を考えると継続できるように考えていきたい。

問 民間の経営ノウハウが必要ではないか。指定管理なり民間に任せていく考えは。

町長 赤字幅の原因という事になれば、その辺も視野に入れた中で検討はしていきたいと思えます。

問 一般会計より、特別会計の方が赤字の原因が分かりやすいと思うが。

町長 検討させていただきます。



八峰の湯

問 福祉住宅には地元木材などの活用に配慮を

答 町長 町民に配慮しています



わたなべ ひとし
渡辺 均 議員

一般質問

問 立科町では、町営住宅の建設で、7割の木材を町有林から調達、地元製材所に加工を委託、設計はコンペ方式で、木造建築に詳しい業者を県木材協同組合に相談、紹介された6社から選出。選出理由は芯材という構造材を用いることを評価、強度の向上と耐久性の向上が期待されている。発注方式は、材料提供と工事を別々に発注するという新しい方式である。小海版福祉住宅では、このような配慮はなされていないのではないか。

町長 配慮のあるようにやっ

ていきます。これからの計画に、何を配慮すればいいんですか。

渡辺議員 高齢者と児童が共に暮らすような住宅建設が先進的として紹介されている。このような先進と言われる取り組みを計画に織り込んで欲しい。

対策、リフォーム業者などに頼み、住み慣れた場所、常時支えるサービスを提供する。こんな取り組みをいくつか住宅需要を考えたら、と言われました。住宅建設の前に、このような取り組みは行われたのか。

町民課長 調査は行ってきた。3〜4名の入居が見込まれている。補助を使った住宅整備も一案である。参考にしたい。

問 入居者をどのようにケアするのか、その手配はどうなっているか。

町民課長 福祉事業者に委託、訪問介護や医療的なサポートも想定。

渡辺議員 (ケアを担う) 人材不足は否めない。新しい制度を作る必要がある。

問 小海分院と社協について

小海分院への支援は。

総務課長 増額します。

問 社協の赤字対策は。

町長 居宅サービスから施設への移行が顕著で負担が増している。人手不足もあるが各事業の収支バランスを整え対処する。



地元木材活用の立科町営住宅

問 保育料完全無償化は

答 町長 財源等々十分に考慮した中ですすめていきたい



わたなべ あきこ
渡邊 晃子議員

問 過疎地域持続的発展計画について — 中身はほぼ長期振興計画つまり町の基本方針という認識から—

問 外国人住民との共生については。

総務課長 外国人住民と地域住民がお互いに交流できる社会ができるよう取組を進めていきたいと考えております。

問 いかなる差別も許さない強いメッセージを。

町長 差別的な問題はあつて

はならない、私も認識しております。

問 中堅の職員の退職が相次いでいる。どう捉え、どう対策するのか。

町長 後押ししてやるという覚悟で送り出してやりました。多分後悔していると思います。個人の考えを尊重すると、そういう部分も生じてしまいますが、魅力ある職場づくり、に私自身邁進しているところ、いけないと感じているところ、でございます。

問 在宅育児世帯応援事業では、みてくれる祖父母がいても一人2万円支給。一方働かざるを得ない親は保育料を負担しなければならぬ。不平等ではないか。保育料も完全に無償にすべきではないか。

町長 方向的にはそつちに向かっているのではないかと思えます。デリケートな部分、慎重に見極めながら支援をしていきたいと思っております。

問 再生可能エネルギーの利便促進については。

総務課長 ゼロカーボン促進補助金を通じて積極的に支援してまいりました。地域資源を有効に活用した多様なエネルギーの活用について、調査研究を行いながら、脱炭素社会の実現と持続可能な地域づくりの推進を目指していきたい。

町の考えは
国の小学校給食費無償化

問 給食を食べられない児童、小海小以外に通う児童への対応は。

教育長 過去の経過また近隣の町村の動向をしつかり注視して対応していく必要があるのではないかと。

渡邊議員 国県からの支援420万ずつ分の一般財源が浮く。先生方の給食費も無償に、デザートを増やす、地元のお米にする取組など、色々と積極的に検討をお願いしたい。



2月26日に開催した多文化共生研修の様子

町へ提言書を提出しました。



令和7年7月より、総務産業常任委員会及び民生文教常任委員会では、下記のテーマに基づき所管事務調査を行ってきました。この度調査結果がまとまりましたので、定例会最終日の3月18日に町長へ提言書を提出いたしました。
詳細はホームページをご覧ください。

I. テーマ

① 総務産業常任委員会

「森林資源の持続的な保全・活用と地域林業の振興について」

② 民生文教常任委員

「こども家庭センターの設置と相談支援体制の充実について」

II. 提言内容

① 総務産業常任委員会

1. 林業事業者の意欲向上と事業継続を支える仕組みの構築

小規模事業者が参画できる町有林の活用や緩衝帯整備等を確保し、地域における役割を明確化した事業参画の仕組みを検討し、担い手の確保・育成と持続可能な森林管理体制を構築すること。

2. 林業経営を支える林道・作業道の計画的な整備促進

効率的かつ安全な森林施業を推進するため、林業経営に適した箇所を優先し、林道および作業道の整備を計画的に進めること。

3. 再造林への支援強化による森林資源循環の確立

森林所有者の負担軽減や事業体確保に向けた支援を強化し、主伐後の再造林を確実に履行させる環境を整えること。

4. 森林環境譲与税の効果的な活用

再造林支援、人材育成、地域材利用の促進等に積極的かつ効果的に活用し、特に放置森林の抑制に向けた整備を加速させること。

5. 地元産木材の利用拡大と情報発信の強化

公共建築物への地元産材の優先利用を推進するとともに、林業の意義について町民への広報を強化し、町全体で森林を育てる意識の醸成を図ること。

② 民生文教常任委員会

1. 専門職の確保と広域連携による相談体制の強化

保護者・児童、さらに保育所・学校職員が常時安心して相談できる体制を整備すること。特に専門職の確保については、南部5か町

村や佐久穂町との広域連携、県や広域連合の支援を最大限に活用すること。

2. 関係機関の情報共有と連携の緊密化

保健・福祉・教育等の各部署および外部機関が迅速に情報を共有できるネットワークを構築し、早期発見から継続的な支援へとつながる包括的な支援体制を確立すること。

3. 再既存制度の周知と円滑な情報提供の推進

各種支援制度や補助事業について、デジタルツール等の活用を含め、町民が必要な時に迅速かつ分かりやすくたどり着けるよう広報を工夫すること。

4. 先進事例の調査に基づく「後発メリット」の最大活用

全国で約7割の自治体が設置済みである現状を活かし、先行事例の成功と失敗を徹底的に分析することで、本町にとって最も効果的かつ効果的な運営モデルを構築すること。

議会改革 特別委員会設置

議会改革特別委員会は3月定例会で設置されました。

次世代のなり手確保を見据えた適切な議員報酬のあり方、効果的な議論を可能にする最適な議員定数について検討を行ってまいります。

また、住民との対話機会の拡充や議会情報の積極的な発信など、町民の皆様にとって議会がより身近になるよう研究してまいります。

議会基本条例策定 特別委員会設置

議会基本条例策定特別委員会は3月定例会で設置されました。

町の議会運営の活性化、開かれた議会の推進、議会と住民との関係強化などを目的とした「議会基本条例」を策定するため、研究及び検討してまいります。

議会を傍聴してみませんか

議会映像配信 (YouTube 配信)



令和6年12月定例会から一般質問の録画をYou Tubeでご覧いただけます。
令和7年第4回定例会の視聴数は185回、
令和8年第1回定例会の視聴数は128回です。
(令和8年4月現在)



町の議会をより身近に感じて
いただける機会でもあります
ので是非ご覧ください。

表紙の写真

今回の議会だよりの表紙に採用したのは、小海小学校4年生の生徒の方が撮影したものです。
私たちが小海町の未来を担う子供たちへ残していきたい風景です。
次号以降も、子供たちが撮った季節に合う写真を載せていきたいと思っておりますので、読者の皆様にも楽しみにしていただければと思います。



「松原湖のアヒル」
撮影：小海小学校4年生(令和7年度) 松井尊路さん

編集後記

令和8年度第1回定例会が、終わりました。今回は、新年度の土台となる骨格予算を中心に審議しました。町の暮らしを支える事業を、途切れなく進めていくための大切な予算です。

物価の高止まりが続く、日々の生活に不安を感じる方も多いと思います。さらに、中東情勢など世界の動きが不安定な中で、地域の暮らしをどう守るかが、これまで以上に問われています。

議会としても、町民の皆様の生活に寄り添いながら、一つ一つの判断を丁寧に積み重ねてまいります。

議会だよりが、町政を身近に感じていただく小さなきっかけになれば幸いです。

(編集委員長 鷹野 文則)

編集責任者 篠原 哲雄

編集委員長 鷹野 文則

編集委員 渡辺 均

編集委員 的埜美香子

編集委員 菊池 一巳